

学校運営協議会議事録

校名	府立西浦支援学校
校長名	山崎 彩
准校長名	鈴木 亮彦

開催日時	令和7年2月20日(木) 10:00~11:40
開催場所	大阪府立西浦支援学校 校長室
出席者(委員)	加藤委員、藤川委員、今西委員、葉山委員、八木委員、荻野委員
出席者(学校)	山崎校長、鈴木准校長、中村事務長、三宅教頭 川口首席、小池首席、福井教務主任、小海首席
傍聴者	なし
協議資料	令和6年度学校経営計画及び学校評価 令和7年度学校経営計画及び学校評価
備考	

議題等(次第順)
<p>(連絡・報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度進路指導についての報告 ・保護者への連絡方法について ・学校安全PTより活動報告 ・10周年記念PTより活動報告 ・農福連携PTより活動報告 ・教育課程の改編について <p>(協議案件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度学校経営計画及び評価について(小中／高) ・令和7年度学校経営計画について(小中／高)
協議内容・承認事項等(意見の概要)
<p>【承認事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度学校経営計画のめざす学校像と中期的目標について、承認を受けた。 <p>【協議内容】</p> <p>《令和6年度学校経営計画及び評価について》 (校長より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校安全PTの努力により、認証に向けた取組みが順調に進んでいる。今年度末にSPS認証を受ける予定。 ・時間外労働の削減を図るも、校務分掌再編等の追加業務、個々の働くスタイルの多様化により思うように削減できず。 ・自立活動を研修の重点項目として取り組んできたが、教職員向け自己診断の結果は目標値に達しなかった。自立活動とは何か、というところから考え直す年度だったので、今後も自立活動の改善に取り組んでいく。 ・児童生徒向けに「先輩の話を聞く会」を実施するなど、進路に関する情報提供を行った。またオンライン出願システムでの出願の保護者向け説明動画や高等部卒業後の進路に関する説明動画を作成し、視聴できるようにした。 <p>(准校長より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・喫茶ルームの開店回数を増やし、生徒たちの接客マナーやチームワークを向上させることができた。 ・ぶどう栽培実習の回数を増やしているが、農業の授業中心の取組みになっているため、高等部全体で特色のある教育活動を行っているという自覚にまで至っていない。今後は一般教科でもぶどう販売等に向け、関連して取り組んでいく。 ・不登校傾向のある生徒の進路が決まらない状況が続いている。ただし関係機関との接続は十分に進んでいる。 ・企業見学会、企業説明会、「卒業生の話を聞く会」を実施するなど、生徒が卒業後のことを知る機会を充実させた。

《令和7年度学校経営計画について》

(校長より)

- ・3か年計画として策定してあるため、めざす学校像及び中期的目標に大きな変更は加えていない。
- ・中期的目標の2(4)からキャリアコーディネーターの活用等に関する文言だけ削除している。

(准校長より)

- ・今年度は就労をめざす生徒向けの取組みに重点を置いたが、より幅広く進路支援を充実させる。

《委員より》

- ・職業教育からキャリア教育へと発展させて、学校全体や地域まで巻き込んで取組みを続けてほしい。
- ・現在の福祉制度は利用所が実際に何時間利用したかを問われるため、事業を継続できない所も出てきている。不登校だった方でも「行きたい」と思ったときに自由に受け入れられて働くことができる福祉制度になればよいが…。
- ・SPS認証を受けることができるのは素晴らしいこと。安心して過ごせる学校づくりを継続させることが大切。
- ・保護者への進路に関わる情報発信が不足している印象。小・中学部に配付する進路の手引きにも事業所一覧をつけるなど、早期から見学に行く機会を設けてはどうか。
- ・マチコミメールでの発信が多すぎて保護者が情報を正しく処理できていない状況だと考えられる。保護者の情報機器のスキルや配信される情報への興味関心に個人差があることを意識して、発信の方法を検討してほしい。

次回の会議日程

日時	令和7年6月下旬 10時開始予定
会場	府立西浦支援学校 校長室